科目名	数量的処理Ｃ（数的推理）　Quantative Processing C: Mathematical Reasoning						
科目担当者	齊藤　芳一　SAITO Yoshikazu						
単位数	２	配当年次	２年	授業形態	講義	開講学期	前期
履修学部・学科［区分］ 他学部他学科履修	法学部・法律学科［総合教育科目　総合講座］ 経営学部・経営学科［総合教育科目　総合講座］					ディプロマポリシーとの関連	(3)(4)
授業の概要	公務員として必要な事務処理能力を問われる「数的処理」の１分野である数的推理は、数学的知識や技能が最も必要とされます。出題分野は中学３年までの数学の内容で、企業の就職試験で多く採用されている SPI3 等の基礎能力検査（非言語）と同様です。この講座では、数学が不得意な人やその内容を忘れてしまった人でも、数的処理の問題を短時間で解決できるように、公務員試験の良質な過去問の演習を通して、解法のパターンやテクニックについて学習します。						
授業の到達目標	①問題の解法のパターンやテクニックを理解し、使いこなすことができる。 ②問題を解決するために必要な数学的な思考力，判断力を身につける。 ③時間内で問題を解決する処理能力を身につける。						

授業計画・内容		
	1	オリエンテーション、数の計算、約数・倍数
	2	約数・倍数、覆面算・方陣算
	3	記数法・整数問題
	4	数列、１次方程式・１次不等式
	5	１次方程式・１次不等式、２次関数・２次方程式
	6	１次方程式の整数解・剰余算、集合の要素の個数
	7	濃度・割合・比、速さ
	8	時計算・年齢算、小テスト１
	9	仕事算・ニュートン算，場合の数
	10	順列、組合せ、確率
	11	確率、三角形の性質
	12	三角形の性質、多角形、円と扇形
	13	円と扇形、立体図形と最短距離
	14	立体図形と最短距離，小テスト２
	15	補足、まとめ

授業外学修 (事前学修)	必ず予習をして授業に臨んでください。しっかり自分で考え、解ける問題と解けない問題を明確にしておきましょう。（毎週２時間程度）
授業外学修 (事後学修)	演習が大切ですので、課題や小テストにしっかり取り組んでください。 課題は自分の力で解いて、次の授業開始前までに送信（提出）してください。 （毎週２時間程度）

成績評価方法・評価比率・到達目標との対応	成績評価方法	評価比率	到達目標との対応
	定期試験	60%	①、②、③
	課題の提出	30%	①、②、③
	小テスト	10%	①、②、③

成績評価基準	秀：（評点 90 点以上）到達目標を極めて高い水準で達成している場合 優：（評点 80 点～89 点）到達目標を高い水準で達成している場合 良：（評点 70 点～79 点）到達目標を一定の水準で達成している場合 可：（評点 60 点～69 点）到達目標を最低限の水準で達成している場合 不可：（評点 60 点未満）到達目標に達していない場合
教科書	資格試験研究会編『公務員試験［高卒程度・社会人］初級スーパー過去問ゼミ　数的推理』実務教育出版
参考文献	なし
その他	数量的処理Ａ（基礎数学）と数量的処理Ｂ（判断推理）の履修後に履修することが望ましい。